

# 居眠り運転テーマに協議

## 事故起因のDR映像公開

OCHIS

【大阪】ヘルスケアネットワーク(OCHIS、武田裕理事長)は18日、「居眠り運転事故の背景を探る」をテーマに、安全と健康を推進する協議会(両輪会、作本貞子代表)を開いた。

居眠り運転が全国で続出している。原因を調べてみるも、過労や健康面だけでは、難しい問題だと思っ

た。今日は、ざっくりぼんやり現場目線での協議をしていただきたい。踏み込んで話し合うことで、居眠り運

転の背景が見えてくるのは、と期待している」と呼び掛けた。

事例発表として、大阪市の運送事業者が居眠り運転事故を起こしたドライバー(Dライフレコーダー(DR)映像を公開。信号待ちの際、ドライバーが居眠り



参加者からは「サイドブレーキの徹底」といった声上がる

て社内を取り組んだ対策や、ドライバーの健康管理面で、どのようなフォローをしているか―も紹介した。

(上田理子)